

令和〇年6月15日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 〇〇 〇〇 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎

申請する区分に〇を記載し、
区分ごとに申請をお願いします。

研修会開催事業実施計画書

標記について、令和〇年度研修会を下記のとおり計画しています。

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会の研修会開催事業の助成について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

区分	地域の連携研修会 / 組織間交流研修会
研修会名	郷土料理講習会
開催予定時期	令和〇年9月
開催場所	長崎市内の公民館等
参加対象者 ※人数も記載	長崎農泊推進協議会会員並びに近隣町の実践者ほか 約20名 ※一部、農泊に興味のある方にも呼びかける。
活動の狙い	長崎市〇〇地域で伝統的に作られている郷土料理、地域自慢でもある魚料理を活用し、お客様をもてなす「郷土の食」について、共に研究し、理解を深め、受入体制のレベルアップを図る目的で開催。 また、体験メニューとして組み込めるよう実践者の体験指導技術の向上にもつなげる。
活動内容	農林漁業体験民宿の団子作りが得意なお母さんや魚料理が得意なお父さんから教わる郷土の料理作り講習会。2品～3品を参加者全員で料理する。料理メニューは〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇を予定。
費用（概算）	材料費 約50,000円 会場借上料 約5,000円 講師謝金 3,000千円×2名=6,000円 計61,000円
参加者負担金	徴収する(1人500円) / 徴収しない
他の活用可能な補助金等	受けている / 受けていない
助成額 (費用－収入)	費用61,000円－参加費10,000円(@500円×20名)＝51,000円 1団体あたり上限50,000円のため、申請額は50,000円

令和〇年6月15日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会

会長 〇〇 〇〇 様

所在地 長崎市尾上町3番1号

名称 長崎農泊推進協議会

代表者 会長 長崎 太郎

申請する区分に〇を記載し、
区分ごとに申請をお願いします。

研修会開催事業実施計画書

標記について、令和〇年度研修会を下記のとおり計画しています。

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会の研修会開催事業の助成について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

区分	地域の連携研修会 / <u>組織間交流研修会</u>
研修会名	漁業体験及び農林漁業体験民宿体験
開催予定時期	令和〇年12月
開催場所	離島地域農泊活性化協議会
参加対象者 ※人数も記載	長崎農泊推進協議会会員 8名
活動の狙い	当協議会において、新しく漁業体験を追加したいと考えており、離島地域農泊活性化協議会で人気の漁業体験を体験する。また、離島地域農泊活性化協議会は早くから農泊に取り組まれているため、実際に宿泊し、指導方法や衛生管理などを学ぶ。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業体験 小船体験を通して、指導方法、必要機材、安全管理体制などを学ぶ。 ・農林漁業体験民宿 当協議会で民泊受入を行っている家庭に、他地域での民泊を体験していただき、指導方法や衛生管理体制などを学ぶ。
費用（概算）	漁業体験 8名×@2,500円=20,000円 体験民宿 8名×@8,000円=64,000円 計 84,000円
参加者負担金	徴収する / <u>徴収しない</u>
他の活用可能な 補助金等	受けている / <u>受けていない</u>
助成額 （費用－収入）	費用 84,000円 > 8名×上限@5,000円=40,000円 ただし1名あたり上限5,000円のため、申請額は40,000円

令和〇年10月10日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○〇 ○〇 様

事業終了後、1ヶ月以内としています。
終了日から1ヶ月以内の日付を記入してください。

所在地 長崎市尾上町3番1号
名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎

研修会開催事業実績報告書

標記について、令和〇年度研修会を下記のとおり実施しましたので報告します。

区分	地域の連携研修会 / 組織間交流研修会
研修会名	郷土料理講習会
開催時期	令和〇年9月15日
開催場所	〇〇公民館
参加者 ※人数も記載	長崎農泊推進協議会会員並びに近隣町の実践者ほか 32名 ※一部、農泊に興味のある方にも呼びかけた。
活動内容・成果	農林漁業体験民宿の団子作りが得意なお母さんや魚料理が得意なお父さんから教わる郷土の料理作り講習会。料理メニュー〇〇と〇〇の2品を参加者全員で料理した。 今後の受入時に活用していただくため、今回参加できなかった会員へも料理メニューを配布した。
費用	材料費 49,100 円 会場借上料 4,600 円 講師謝金 3,000 千円×1名=3,000 円 計 56,700 円
収入 (参加者負担金等)	参加費@500 円×27名=13,500 円 ※講師及び主催者5名を除き徴収
助成額 (費用－収入)	費用 56,700 円－参加費 13,500 円=43,200 円 申請額は 43,200 円

<その他関係資料>

領収書	<input type="radio"/>	※必須（写し可）
写真	<input type="radio"/>	※必須（研修会の写真）
成果物		作成がある場合（開催チラシや報告書等）

該当に「○」を記入してください。

記載例

令和〇年 2月 1日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○〇 ○〇 様

事業終了後、1ヶ月以内としています。
終了日から1ヶ月以内の日付を記入してください。

所在地 長崎市尾上町3番1号
名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎

研修会開催事業実績報告書

標記について、令和〇年度研修会を下記のとおり実施しましたので報告します。

区分	地域の連携研修会 / 組織間交流研修会
研修会名	漁業体験及び農林漁業体験民宿体験
開催時期	令和〇年1月19日、20日
開催場所	離島地域農泊活性化協議会
参加者 ※人数も記載	長崎農泊推進協議会会員 5名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業体験 小船体験を通して、指導方法、必要機材、安全管理体制などを学んだ。 ・農林漁業体験民宿 当協議会で民泊受入を行っている家庭に、他地域での民泊を体験していただき、指導方法や衛生管理体制などを学んだ。 今回の体験内容は報告書にまとめ、全会員へ配布を行った。
費用	漁業体験 5名×@2,500円=12,500円 体験民宿 5名×@8,000円=40,000円 計 52,500円
収入 (参加者負担金等)	なし
助成額 (費用－収入)	費用 52,500円 > 5名×上限@5,000円=25,000円 ただし1名あたり上限5,000円のため、申請額は25,000円

<その他関係資料>

領収書	<input type="radio"/>	※必須 (写し可)
写真	<input type="radio"/>	※必須 (研修会の写真)
成果物	<input type="radio"/>	作成がある場合 (開催チラシや報告書等)

該当に「○」を記入してください。

研修会開催事業助成金 交付請求書

研修会事業の2区分とも申請された場合は、まとめて請求いた
しません。

金 68,200 円

令和〇年度において採択された研修会開催事業について、上記のとおり請求
いたします。

令和〇年2月1日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○○ ○○ 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
請求者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎

(振込先)

1 金融機関名	長崎○○ 銀行 ○○ 支店 () 出張所
2 預金種別	当座・普通
3 口座番号	1234567
4 口座名義人(フリガナ) (漢字)	ナガサキノウハクスイシンキョウギカイ 長崎農泊推進協議会

発行責任者： ○○○○○ 連絡先
担当者： ○○○○○ 連絡先

令和〇年4月10日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 〇〇 〇〇 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
応募者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎
(個人にあつては、住所・氏名)

研修会開催事業交付決定前着手届

研修会開催事業について、交付決定を受ける前に事業に着手したいので届け出ます。

なお、交付決定を受けるまでの期間内に、天災地変を含むあらゆる事由によって事業に損失を生じた場合であっても、当該損失は事業実施主体が負担します。また、交付決定がなされなかった場合であっても、異議は申し立てません。

記

交付決定前着手が必要な理由を具体的に記載してください。

- 1 事前着手の理由
5月に開催する〇〇〇について、印刷製本などの準備を始める必要があるため
- 2 着手（予定）年月日
令和〇年4月10日